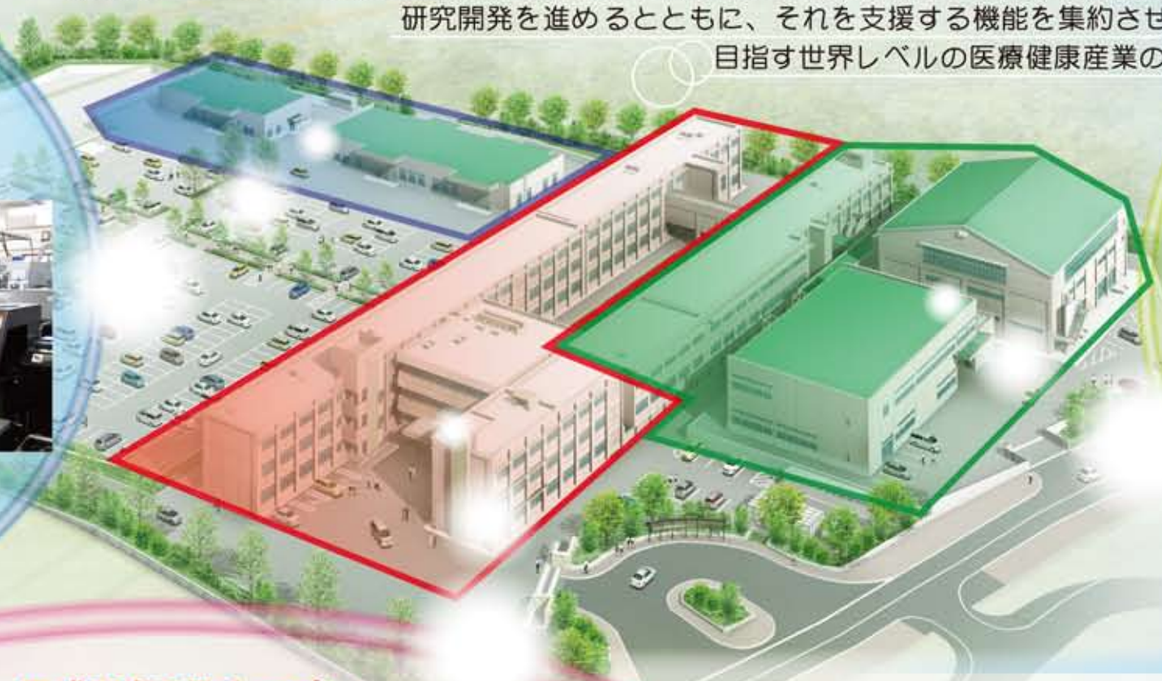
ファルマバレープロジェクト… 新しいステージへ ～オープンイノベーションの拠点が誕生～

Open Innovation

ファルマバレープロジェクトの新拠点施設は、国内有数のがん診療拠点、静岡がんセンターに隣接するという好立地環境の中、
オープンイノベーションを戦略的に進め、医療健康分野の企業による研究開発と、地域企業の参入・成長を加速するための拠点です。

戦略的な３つのゾーン設定を行い、様々な企業等の連携・交流による、世界市場も視野に入れた
研究開発を進めるとともに、それを支援する機能を集約させ、静岡県が
目指す世界レベルの医療健康産業の集積を進めます。



地域企業開発生産ゾーン

平成28年3月オープン

医療健康産業へ参入した地域企業が、
事業拡大に向け、開発と生産を一体的
に行うレンタル工場として活用します。

東海部品工業(株)
入居決定

テルモ(株)MEセンター
入居決定

自ら高度な研究開発等を進めながら、地域
企業や入居企業を積極的に支援する大手企業が、
開発・生産の拠点として活用します。

リーディングパートナーゾーン

平成28年3月オープン

プロジェクト支援・研究ゾーン

平成28年9月オープン

- 中核支援機関であるファルマバレーセンターが入居し、地域企業等をワンストップで支援します。
- 研究開発室には、研究開発を行う企業や、研究開発を支援するコンサルタントなどが入居します。
- 常設展示場、リフレッシュスペース、会議室などを設け、交流の場の提供や医療人材の育成を図ります。

成長支援

研究・開発

人材育成

交　流

静岡がんセンターやリーディングパートナー企業との連携
異業種間や医療従事者と交流しやすい環境
ファルマバレーセンターによる一元的な支援
ラボマネージャーが常駐し、入居企業を全面的にバックアップ

～ファルマバレープロジェクトとは～

静岡県は、県東部地域を中心に医療健康産業の集積を目指すファルマバレープロジェクトを推進しています。このプロジェクトは、平成14年の静岡がんセンター開院を契機としてスタートし、静岡がんセンターが中心となって疾病克服に向けた臨床研究・研究開発を推進するとともに、(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンターを中核支援機関として、産学官金が連携して地域企業の医療健康産業への参入と製品化・事業化に向けた支援を行ってきました。

この間、「ふじのくに先端医療総合特区」や「地域イノベーション戦略支援プログラム」等の国の支援も受け、30を超える新規企業が参入を果たし、70を超える製品が生まれたほか、静岡県の医薬品・医療機器合計生産金額は約1兆円に到達し、４年連続で全国1位となるなど着実に成果を挙げています。

周辺道路図　新東名・長泉沼津 IC、東名・沼津 IC から伊豆縦貫道を介して約７分

■ 施　設　概　要

設置者	静岡県
所在地	静岡県駿東郡長泉町下長窪1002－1
敷地面積	約43,000㎡
延床面積	約17,000㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造３階建て（旧校舎を改修）ほか　　新築部分は鉄骨造
共用施設	試作室、常設展示場、会議室、リフレッシュスペース等
駐車場	約400台
管理者	指定管理者方式を予定

■ 研究開発室の仕様（予定）

項目	ラボ仕様（1F）	ラボ仕様（1F）	ラボ仕様（2F）	ラボ仕様（2F）	ラボ仕様（2F）	ラボ仕様（3F）	オフィス仕様（2F）
ドラフトチャンバー用排気孔	なし	あり	なし	あり	あり	なし	―
部屋数	3	4	4	2	1	5	6
面積(室数)	56.95㎡	56.95㎡	56.95㎡(3)、56.32㎡(1)	56.95㎡	89.52㎡	56.95㎡	32.12㎡
天井高	2.8m	2.8m	2.8m	2.8m	2.8m	2.8m	2.8m
耐床荷重	土間コンクリート(注1)		230kg/㎡				
床仕様	長尺塩ビシート（耐薬品性）						長尺塩ビシート
通信設備	高速通信回線、電話回線　※要個別契約						
空調設備	個別エアコン						
電気方式	単相 100V(200V取出可)・三相(200V)　(注2)						単相 100V(200V取出可)(注3)
給排水設備	流し台（給水管・排水管）						―
セキュリティ	入退管理システムエリア					―	―

※上記仕様は予定であり、完成後の仕様と異なる場合があります。　(注1)重量により床を補強して使用可　(注2)1部屋あたり19KVA程度まで　(注3)1部屋あたり9KVA程度まで

〈問い合わせ先〉
静岡県経済産業部商工業局　新産業集積課　054-221-2985
(公財)静岡県産業振興財団　ファルマバレーセンター　055-980-6333

富士山麓先端健康産業集積プロジェクト

静岡県 ファルマバレープロジェクト

Fuji Pharma Valley

富士山麓に医療健康産業の新しい研究開発拠点が誕生

研究・開発

成長支援

交流
人材育成

静岡がんセンターなどの医療機関、医薬品・医療機器の製造・研究施設や幅広いものづくり産業が集積する静岡県東部地域に医療健康産業の新しい研究開発拠点が誕生します。

ふじのくに Shizuoka Prefecture

Fuji Pharma Valley